

2024年度 日印産連表彰者一覧

■ 印刷功労賞

	氏名	推薦団体名	団体役職名	会社名	会社役職名
1	かわだ かずあき 川田 和照	印刷工業会	印刷工業会 常任理事 日本印刷産業連合会 常任理事	TOPPANクロレ株式会社 (旧図書印刷株式会社)	相談役
2	さとむら けんじ 里村 憲治	印刷工業会		共同印刷株式会社	元取締役常務執行役員
3	たきざわ みつまさ 滝澤 光正	全日本印刷工業組合連合会	理事・顧問	滝澤新聞印刷株式会社	代表取締役社長
4	うらくぼ やすひろ 浦久保 康裕	全日本印刷工業組合連合会	相談役	株式会社一心社	代表取締役社長
5	さくま のぶゆき 佐久間 信幸	日本フォーム印刷工業連合会	理事	株式会社 日進堂印刷所	代表取締役社長
6	ささおか まこと 笹岡 誠	一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会	理事	有限会社ドゥ・プラン	代表取締役
7	とみつか むねひろ 富塚 宗寛	全日本製本工業組合連合会	副会長	富塚製本 株式会社	代表取締役
8	ありはら つねき 有原 常貴	全日本シール印刷協同組合連合会		北海シーリング株式会社	代表取締役
9	いしい じゅん 石井 純	全国グラビア協同組合連合会	副理事長	株式会社 多漣堂	代表取締役
10	いしもと ただひろ 石本 忠廣	日本グラフィックコミュニケーションズ工業組合連合会	副会長	株式会社 イシモト	取締役会長
11	あおゆま みつる 青沼 美鶴	全日本スクリーン・デジタル印刷協同組合連合会	全日本スク・デジ 理事 東北スク・デジ 理事	株式会社 メイジ	代表取締役社長
12	ほり ともみ 堀 知文	全日本光沢化工紙協同組合連合会	理事	丸栄有限会社	代表取締役

■ 印刷振興賞

	氏名	推薦団体名	団体役職名	会社名	会社役職名
1	うちやま あきら 内山 明	印刷工業会		(旧)新生グラビア株式会社	元代表取締役社長
2	むねかた てるひこ 棟方 輝彦	印刷工業会	一般社団法人板橋産業連合会 理事 板橋区地域自立支援協議会 委員	東京都チャレンジプラストッパン株式会社	常務取締役
4	にしおか ひろし 西岡 浩	印刷工業会		株式会社DNPデータテクノ	常務執行役員
3	たきぐち ゆみ 滝口 祐美	印刷工業会		共同印刷株式会社	IT統括本部長
5	おおつか やすみ 大塚 泰文	全日本印刷工業組合連合会		協同精版印刷株式会社	代表取締役社長
6	やまぞえ よしひろ 山添 順裕	全日本印刷工業組合連合会		株式会社山添印刷店	代表取締役
7	おおき ひろと 大木 啓稔	全日本印刷工業組合連合会		株式会社泰清紙器製作所	代表取締役
8	しんぼ あきお 新保 朝男	日本フォーム印刷工業連合会	関東フォーム印刷工業会 理事	株式会社 昇寿堂	取締役 深川工場長
9	なかむら まこと 中村 盟	一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会	理事	NS印刷製本株式会社	代表取締役社長
10	さいとう ひでかつ 齋藤 秀勝	一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会	理事	株式会社文化ビジネスサービス	代表取締役社長
11	わたなべ ひろゆき 渡邊 博之	全日本製本工業組合連合会	参与	株式会社 博勝堂	相談役
12	しばた てつお 柴田 哲男	全日本シール印刷協同組合連合会	常務理事	シバタセスコ株式会社	代表取締役
13	かわしま かずひろ 川嶋 春広	全国グラビア協同組合連合会	九州グラビア協同組合 事務局	株式会社平野屋物産	取締役 総務部長
14	たばた よしゆき 田畠 義之	日本グラフィックコミュニケーションズ工業組合連合会	副会長	株式会社セントラルプロフィックス	代表取締役社長
15	にわ しろう 丹羽 史郎	全日本スクリーン・デジタル印刷協同組合連合会	愛知県スクリーン・デジタル印刷協同組合 監事	有限会社丹羽ランド	会長

■ 特別賞

	団体名・活動内容	推薦団体名	代表者	推薦理由
1	埼玉県印刷工業組合 障がいのあるアーティストの作品を活用したアートカレンダー事業	全日本印刷工業組合連合会	めぐみ はやと 恵 勇人	埼玉県印刷工業組合が、実施しているアートカレンダー事業は、2022年から社会福祉法人みぬま福祉会 KOBO-SYUと共同で、障害のあるアーティストの作品を発信し、障害者と社会をつなげる活動となっている。毎年、障害を持つ150名のマイノリティーアーティストの作品の中から13作品(表紙+12ヵ月分)を選び、カレンダーの絵柄に採用し名入れ形式で販売。収益はアーティストに還元し、埼玉県印刷工業組合は、印刷・加工・名入れ・資材の調達など各分野のスペシャリストと連携して取り組むことで、適正なコストで作品を提供している。本事業は、埼玉県印刷工業組合が中核となり、国や地域の行政だけでは埋めることの出来ない課題を少しでも解決することを目的に、印刷と紙の文化を通して、社会に寄与する活動となっている。今後は、カレンダー以外でも様々な形で商品化していく計画もあり、中小印刷業界の持続的な発展と社会課題の解決に大きく貢献している。